

事業報告書

1 支援団体名	NPO法人バイオマスワークあったらし会	
2 事業名称	曾木の滝&大鶴湖ツーリズム	
3 実施日時	平成31年4月～令和2年3月	
4 実施場所	大鶴湖周辺（鶴田ダムから曾木の滝まで）	
5 事業目的、内容及びその効果	<p>（事業実施状況・内容）</p> <p>曾木の滝&大鶴湖ツーリズムとして、地元の大口高校生や日本大学生等と一緒に年間を通じて体験活動を実施しました。</p> <p>まず8月に鶴田ダム体験見学の視察・見学を行い、ダムの操作室・ダムの放流ゲート・発電管・発電施設等の視察、川内川展示室・発電展示室等の見学し、またダム機能の学習として、再開発事業による放流施設の増設等並びに洪水調整や発電等のダム機能等を学びました。</p> <p>次に、10月に大鶴湖船上体験として、大鶴湖の歴史である堀之内良眼坊の川浚えの碑、米倉船着き場跡の視察を行い、また大鶴湖の流木、ウォーターレタス、プラスチックゴミ等も直接触れながら体験しました。</p> <p>11月には、宮人川ビオトープにて秋の収穫祭を行いました。企画から実施まで大口高校生や日大生と一緒に取組み、当日は地元の小中学生や保護者約50名が参加し、地元の食材を生かしたぜんざいの振舞やビオトープを風船や風車で飾り付けた撮影会などを行い大いに盛り上がりました。またSNSでも動画配信を行い大鶴湖の魅力を発信しました。</p>	
	<p>（事業実施効果）</p> <p>地元の高校生や交流のある大学生等が積極的に鶴田ダムの機能や役割を学び、大鶴湖の歴史や環境問題を自分の目で確認することで、地域の課題に進んで取り組むリーダーが育ちつつあります。また、イベントを通じて地元の子供達や来訪者等と交流することにより、地域の魅力に気づき、発信することで大鶴湖周辺の活性化に寄与しました。</p>	
6 参加内訳	総人数	163名
	（1）主催者参加	42名
	（2）日本人参加（（1）を除く）	121名
	（3）外国人参加（（1）を除く）	0名
7 今後の方針	<p>曾木の滝&大鶴湖ツーリズムは、新しいアイデアも積極的に取り入れ、地元の高中生や交流のある大学生とも交流を深めることが出来たので、今後はリピーターを増やす為、大鶴湖の魅力を再発見できる取り組みを考えていきます。</p>	

宮人川ビオトープにて、SNSの撮影会で子供達が傘を持ってジャンプしている様子



宮人川ビオトープにて、ぜんざいの振舞いで子供達が美味しそうに食べている様子



宮人川ビオトープにて、秋の収穫際の記念写真



鶴田ダム見学にてダム内部で職員の説明を真剣に聞いている様子



鶴田ダム見学にて放流口付近でスタッフの説明を受けている様子



大鶴湖船上体験として、ウォーターレタスの繁殖状況を直接観察している様子

